

整理No. 2018-35		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生場所					
災害発生日時 2017年 11月28日(火) 17時00分					
災害区分 不不休災害 <u>休業災害</u> (休業:3日)					
被災者	部門	技術部門		雇用形態	正社員、 <u>派遣</u> 、契約、その他()
	年齢	37歳	性別: 男 <u>女</u>	勤続年数	2年
	傷病名	病名 (一酸化炭素中毒の疑い)			
	傷病部位	吐き気、めまい、頭痛			
災害発生状況	物理実験室の断熱測定器を使用し、部品の断熱試験を行っていたところ、異臭により気分が悪くなり、一時的に意識も失った。医師からは、一酸化炭素中毒の疑いありと診断を受けた。			状況概略(写真orイラスト)	
					
				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">断熱測定器</div>	
災害の型 ^{※1)} 14			作業の形態: <u>定常</u> 、非常、その他()		
起因物:断熱測定器			特記事項:なし		
原因分類	1.人的要因(man) 異臭を感じた時、ドアを開けたが窓は開けずに試験を続けた				
	2.物に関する要因(machine) 測定器から有毒物が発生する認識が低かった。				
	3.環境要因(media) 不完全燃焼が生じた際、それを感知する手段がなかった				
	4.管理的要因(management) 評価サンプルは自社製品ではなかった。加熱による有毒物の発生の可能性が、確認出来ていなかった。				
対策	1.人的要因(man) 安全優先の動機付けと異臭を感じた際の対応についての教育と訓練を実施。1-2、1-6、2-4、2-5				
	2.物に関する要因(machine) 加熱による有毒物の発生の脅威や測定器の特長について教育した。1-6、2-4、2-5				
	3.環境要因(media) 一酸化炭素探知機を各所に設置した。1-4、2-4				
	4.管理的要因(management) 可能な限り評価サンプルでもSDSを入手し、それを課員へ情報展開する。(本件についてはSDSが後日入手が出来る)1-1				
対策分類 ^{※2)} :上記に記載					
備考	類似箇所抽出:				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)